

# 育児院だより

2019年12月16日

第68号



発行：社会福祉法人児童養護施設 埼玉育児院

〒350-1175 埼玉県川越市大字笠幡 4904-1

Tel049-231-2107

発行責任者：柴山英士 編集：埼玉育児院広報委員会

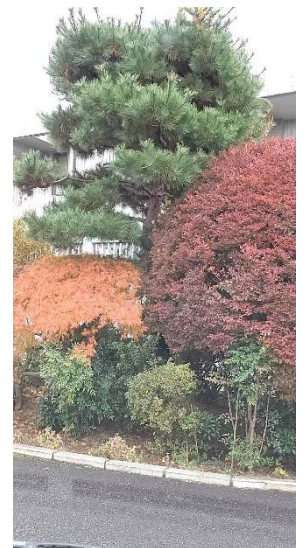
Fax049-231-2111

## チャリティーコンサート&お楽しみ会、ありました。

昨年は、節目となる第10回のチャリティーコンサート(平成30年7月29日 やまぶき会館)を行いました。いつでもどんなイベントでも、当日を迎えればすぐに次回の企画にとりかからなくてはなりません。後援会副会長の持ち回りで、企画の下案がすぐに検討され役員会上がります。「大丈夫だろうか」「これまでの客層の方々に受け入れていただけるだろうか」本番当日を迎えるまで、後援会副会長の心配と不安は最後まで付きまっていたようです。実は、これまでの埼玉育児院後援会のコンサートは、歌や楽器によるクラシックや叙情歌の楽曲を中心に、来場してくださる皆様になじみのある楽曲を楽しんでいただいていた。ところが今年度第11回のチャリティーコンサート(令和1年9月28日 やまぶき会館)は、JAZZ にしたのです。やってみるまでは心配の種は尽きません。ところが終わってみれば、来場者からの賛辞であふれていました。チケットの売り上げ枚数は例年に比べ若干少なかったものの、コンサートそのものは大好評だったのです。おかげさまで、子どもたちの就学助成金と建設資金の費用を後援会から頂くことができました。現在、就学助成を受けている退所児が2名、これまで受けた児童が累積で4名となっています。また、子どもたちが居住している建物も、木造建築で築22年が経過し、建設資金は、その建て替えに備えての積み立てとしてプールさせていただいています。

毎年10月の最終日曜日は、『創立記念 埼玉育児院お楽しみ会』が催されます。今年は天気に恵まれ、地域の方々や、日ごろお世話になっている社会福祉法人埼玉育児院の評議員、理事、監事の方々、後援会の皆さん、山伝自治会の方たちも多数いらしていただきました。日頃は、いつも縁の下の力持ちよろしく、めったに表舞台には顔をお出しにならない方々ですが、こと子どもたちのことに関しては大変に理解と深い愛情をお持ちなので、おもてなしも十分にできるわけでもないこの会に足を運んでいただきました。この地に来てはや一世紀を迎えようとする歴史を刻む施設ですが、現在の後援会会長を引き受けていただいている發智金一郎会長は、霞ヶ関地区郷土史研究会の代表もなさっておられ、先日「霞ヶ関カンツリー倶楽部と發智庄平翁」という冊子を発行されました。その中に、埼玉育児院のことも紙面を割いておられますが、来年東京五輪のゴルフ競技の会場となる霞ヶ関カンツリー倶楽部とこの地に来てからの埼玉育児院の歴史は見事に重なる(双方昭和3年4年に開設)こともあって、なんだか誇らしい気持ちもわいてきます。これまでも数多くの地域の皆様に支えられ、理解いただきながらこの埼玉育児院は自らの使命と役割を果たしてこられたのだと感じています。これからは、地域の皆さんに恩返しのできる施設を目指していきたいと思っています。

埼玉育児院 院長 柴山英士



育児院の紅葉も綺麗です。

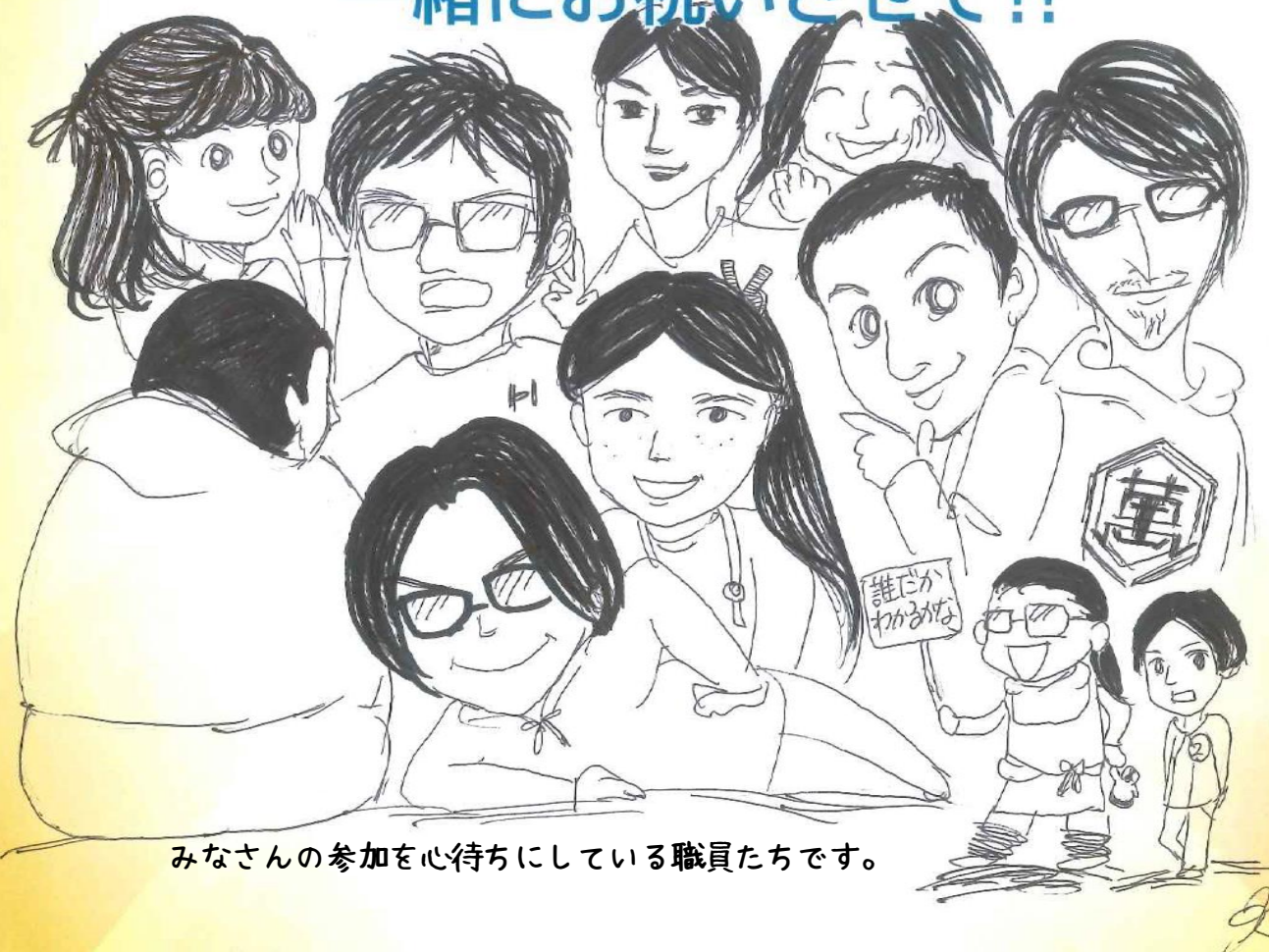


# 成人をお祝いする いくじさんの会開催

日時:令和 2 年 1 月 19 日(日)

今年は 6 人の元入所児が成人を迎えます。

一緒にお祝いさせて!!



みなさんの参加を心待ちにしている職員たちです。

この度、このページを作成するにあたり、育児院を巣立って 10 年ほど経過した元児童の方々にアンケートを作成し、みんな 30 歳を前にそれぞれご自分の人生を歩んでいることをご紹介しようと思っ  
ていましたが、結果、期日内に返信をもらうことができませんでした。

我々職員のアフターケアが行き届いていないことの表れと痛感しています。心のどこかで、できることはやっている!と自惚れていたかもしれません。いま一度、退所生との向き合う姿勢を見直します。

# 祝七五三



今年も川越氷川神社にて七五三をしてきました。男の子2名、女の子4名、計6名の子どもたちが、カッコいい、かわいい衣装に身を包み、ご祈祷を受けお参りすることができました。



絵馬には、それぞれ“おおきくなったらなにになりたい？”を書くことができました。

子どもたちの健やかな成長を見守っていきたいと思っております。みんな立派でした！！

後援会主催

# チャリティーコンサート

2019.9.28



第11回埼玉育児院後援会主催チャリティーコンサートにたくさんの方々にご来場いただき、ありがとうございました。JAZZの生演奏を初めて鑑賞する方も多く、「こんなに感動するとは！」という感想をたくさんいただきました。



このコンサートの収益は、児童の進学費用や児童が生活する家屋の建て替え等に役立てられます。

次回 2020年9月中旬 開催予定

# ありがとうございました

## お楽しみ会

2019.10.27



子どもたちや職員、施設がいつもお世話になっている地域の方々に感謝を伝える会です。



# 子どもたちに聞きました 「2019年 頑張ったこと」

鉄棒を頑張った



さんすうがんば  
りました。



僕は今、何りを食っています。何りは全体で3匹います。僕は中学校では、サッカー部に入っています。これからサッカーはるよりに度力したいです。

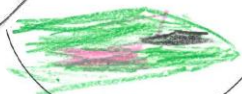


ライブやイベント、グッズを買うためにバイトを決めてお金をかせいたこと。

英語のスピーチをしたり、公文の英語をがんばりました。

English for fun

がんばったことはサッカー大会で一回優勝しました。★サッカーのキャプテンもがんばりました。



ソフトボール期待にこたえられて準優勝できた。

イェーイ



アカハラ何りを育てるのを一番がんばりました。元気にしています。

何リ

お風の絵



クリスマス会の練習

お顔を描けるようになりました



私は今年、育徳院に移動して来ました。新しい環境に慣れることができました。その中、朝、起床ことや受験生などの勉強など、お世話な苦戦しながら、努力しています。特に朝起きるのが苦手で、職員さん達に協力してもらってがんばっています。これからも努力していきたいと思えます!!!

I tried hard studying for an entrance exam for high school. And a speech contest in English.

国語の、漢字のテストを、なるべく100点取れるようにがんばりました。

# グループホーム 地域小規模児童養護施設

って？



## 厚生労働省 児童養護施設運営指針より

子どもの生活の場をできるだけ家庭あるいは家庭的な環境で養育する「家庭的養護」と、個々の子どもの育みを丁寧にきめ細かく進めていく「個別化」が必要である。

できる限り小規模で家庭的な養育環境(小規模グループケア・グループホーム)の形態に変えていくことが必要である。

埼玉育児院には、地域小規模児童養護施設と言われるグループホームが2カ所あります。『松本ホーム』と『原田ホーム』です。育児院のグループホームの様子をお伝えします。

## 防災の心がけ

10月の台風では、松本ホームのある地区に避難指示が出され、4km離れた本院に避難し一夜を過ごしました。特に大きな被害には至りませんでした。ここ数年で本院への避難の回数が増えたこともあり、いま一度、防災について考えています。



### 松本ホーム

- ・悪天候時は避難情報をこまめに確認して、避難のタイミングを決めておく。
- ・断水に備えて飲料水を備蓄しておく。
- ・トイレ脇には排水用の水を用意しておく。



### 原田ホーム

- ・情報をチェックして危険な物は室内に入れておく。
- ・食料品の貯蓄。
- ・避難場所の確認。
- ・防災の日は防災食を食べる。

実際に災害が起こったことを想定し、松本ホーム全員が原田ホームに避難する練習もしました。みんなで防災食を食べました。災害の際はグループホームの連携も大事になります。

一般のご家庭と同じように見えて、子どもの入所施設であるグループホームはもしもの時の安全を最優先に、細心の注意を払い防災対策を講じています。最近になり、発令回数が増えた避難指示等も1回1回軽視せず、その都度避難します。避難といっても、そこも一般のご家庭とは異なり、避難先は地域の体育館等ではなく、身内の本院です。グループホームはその時その時、勤務している職員が1人しかいない時が多いため、グループホーム同士や本院との連携・協力がとても重要です。また、グループホームに限らず、「備えておく」ということが生活の一部になり、子どもたちにも当たり前のことに感じられるようになるよう頑張りたいです。

# 新聞から No.15



児童福祉や社会的養護、子どもの養育に関する新聞記事に対し、育児院の状況や課題などをお伝えします。

今回は、令和1年11月6日

読売新聞の医療・健康・介護サイト

YomiDr. ヨミドクター より

## 『児童養護施設の子「インフル 予防接種が受けられない」…親 の同意得られず』

虐待や経済的な理由などで実の親と離れ、児童養護施設で暮らす子どもたちが、親権者の同意が得られないために必要な予防接種が受けられないケースが少なくないことが、支援団体「認定NPO法人ブリッジフォースマイル」(東京)の実態調査でわかった。…

…児童養護施設で暮らす子どもに関わる医療行為、契約行為には親権者の同意が必要となる。同意が得られず、子どもが予防接種を受けられないことがないよう、2016年の厚生労働省の通達では、予防接種について、「児童相談所又は児童福祉施設において、保護者の包括的な同意文書を事前に取得しておくことは差し支えない」とされている。しかし、今回の実態調査では、親権者の「包括的同意書」を得ている施設は19.3%しかなく、取得していない施設が50.6%だった。…

育児院には承諾書があります!!

そして、毎年11月には嘱託医の元山クリニックさんで、子どもも職員もできる限り全員がインフルエンザの予防接種を受けます。100人以上の大人数が接種することになるので、予定表に各自の名前を書き込んでスケジュールを確認しながら、みんなが受けます。なにしろ集団生活ですので、予防対策はとても大切だと考えています。

育児院では、十数年前から承諾書の作成改良を重ね、今では、法定予防接種に加え、  
「インフルエンザ予防接種、および医療で必要な諸検査、並びに医療行為(緊急手術、輸血、けがや歯科での麻酔等)」を医師との協議の上、実施することを承諾する という内容になっています。

児童が施設入所するとき、できるだけ保護者に立ち会ってもらい、承諾書の記入をしてもらうという段取りをスタンダードにしており、それが難しい場合は、後日郵送等で保護者や児相長の承諾を得ています。

それでも、急な対応に困ることもあります。

実際、急なケガや痛みの場合は、生活の職員と病院に行きますが、縫合や抜歯などのための麻酔には、その場で保護者の同意を求められることが多いです。

一刻を争う状況の中、一緒に通院した職員と子どもの関係性を一から説明し、親権者の承諾をもらっているということを伝えなければなりません。そして、施設長に連絡を入れ、保護者から承諾されている施設長の同意を確認して、処置をお願いしています。

子どもの健康は、安全・安心の基盤の一つだと思います。「もしも」の時に、それが脅かされてしまう現状には、親権に係る法律などの改善も急務です。何も無いことが最善ですが、今のところは、職員が日頃の心構えを万全に備えておくことが大切です。



# 日誌

## 9月

1日：Aブロックプールレク/川口短大実習生Aブロック  
2日：チャリティーコンサート合同会議  
4日：一時保護棟部署別会議  
5日：運営・合同会議/霞小連絡会/基幹的職員養成研修～6(廣野)  
7日：ラフティングご招待/ATTIJapan研修(増元)/採用説明会  
8日：スケート教室/立教大学実習生Cブロック  
10日：総務委員会(院長)  
11日：部署別・給食・職員・合同会議  
12日：埼児研(川鍋)/法人内新任研修⑦/人材確保委員会(院長)  
14日：養育里親実習①  
15日：山伝敬老会/フットサル大会ご招待/養育里親実習②/絵本読み聞かせ  
16日：理事会  
17日：越谷児相一時保護所研修(山宮)  
18日：食育報告会/合同会議/プロジェクト会議  
19日：派遣研修事前オリエンテーション(吉原・原)/越谷児相一時保護所研修(山宮)  
20日：法人内新任研修⑧  
21日：採用説明会  
25日：委員会・部署別会議/避難訓練/キッチンカー(原田H)  
26日：施設長勉強会/育成会定例会(畝本)  
28日：第11回チャリティーコンサート  
29日：山伝集団回収  
30日：施設長会(院長)

## 10月

1日：東京国際大学実習生Dブロック  
2日：運営・合同会議  
5日：就職セミナー相談会 in 熊谷(院長・戸川)/街頭赤い羽根共同募金(宮城)  
8日：川越市社会福祉審議会子ども・子育て会議(院長)  
9日：衛生研修/職員・養育・合同会議/総務委員会(院長)  
10日：埼児研(川鍋)  
15日：施設長会(院長)  
19日：川越祭り～20/文教大学実習生Aブロック

20日：採用面接/川越祭り山車引き/山伝代議員会(院長)  
23日：防犯パトロール(院長)  
24日：委員会/避難訓練/合同会議/さいたま市児相措置後調査  
27日：創立記念お楽しみ会  
28日：埼児研新任宿泊研修～29  
30日：キッチンカー(原田H)

## 11月

1日：聖学院大学実習生Bブロック/立教大学実習生Cブロック  
2日：採用説明会  
3日：3.7歳七五三  
6日：主任院内研修/運営会議・基幹主任会議/施設長会  
7日：埼児研幹事会(川鍋)  
8日：越谷児相措置後調査  
9日：You Me We ランニングイベント協力/5歳七五三  
10日：スケート教室/川越市子どもかるた大会/採用説明会  
11日：埼児研派遣研修受入おお里～13日/採用力アップ研修(院長)  
12日：里親基礎研修  
13日：部署別・給食・職員・合同会議/南児相措置後調査  
17日：山伝秋祭り/ポップアップカード作り体験/絵本読み聞かせボラ  
18日：院内性教育研修  
19日：川越市社会福祉審議会(院長)  
20日：指導者研修～22(戸川)/川越市虐待防止ネットワーク研修会  
23日：川越協会野外礼拝/嵐山学園退所生の会  
25日：埼児研派遣研修受入泰山木のある家～27日  
27日：委員会・部署別・基幹主任会議/避難訓練/全養大会(院長)～29日/所沢児相措置後調査/キッチンカー(原田H)  
29日：あいの実見学(戸川)  
30日：小学生対象アクティビティご招待/Dブロックディズニーレク

いつもありがとうございます。 9/1～11/30

《寄付者》片倉 清、石井 政恵、株式会社武蔵野銀行、国立厨房サービス株式会社、有限会社平田屋、株式会社シライシ、川木建設株式会社、埼玉県更生保護女性連盟、所沢地区更生保護女性会、青木 照子、長嶋 こずえ、高星 清、和田 和子、株式会社徳洲会竹林央人、和田 政美、パンプキン、まいまい、オータ狭山パチンコ店、岡野先生、埼玉スポーツ用品小売商業協同組合マツザキスポーツ坂戸店、長谷川昭代、佐藤 カズ、對崎 奈美子、岡田 昭子、加藤 朝美、増岡 法子、J's Factory、霞ヶ関郷土史研究会、社会福祉法人ともいき会

《生活ボランティア》滝川 容子、櫻井 美津江、川内 さつき《ピアノボランティア》小名木 千穂  
《学習ボランティア》石塚 定次、清田 恵子、神山 裕一《育児院だより発送・除草》サポートクラブ  
《招待・来訪イベント》ラフティング：みらいの森、フットサル大会：積和創心の会、  
絵本読み聞かせ：絵本の森、スケート教室：森田和治・皆様、ポップアップカード作り体験：まいまい、  
小学生対象アクティビティ：川越ライオンズクラブ、キッチンカー：喫茶 Mon 順不同・敬省略